

八十二銀行のあゆみ

地域とともに築き上げてきた基盤を軸に、次なるステージへ

第十九銀行と六十三銀行の合併により1931年(昭和6年)に創立した当行は「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、日本の近代化を進める原動力となった信州とともに歩んできました。

環境経営を中心としたCSR活動のトップランナーとして、国際社会の共通目標である「SDGs」の達成に貢献するため、2019年4月に「八十二銀行グループ SDGs宣言」を策定いたしました。

今後も「八十二銀行グループ SDGs宣言」のとおり、全役職員が主体的に地域の社会的課題の解決に取り組むことで経済成長に貢献し、地域の皆様とともにSDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2019年

SDGs宣言の策定・公表

八十二銀行グループ SDGs宣言

八十二銀行グループは、全役職員が主体的に地域の課題解決に取り組み、地域の皆様とともにSDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めてまいります。



SDGs(持続可能な開発目標)

Sustainable Development Goals の略。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた国際社会共通の目標(ゴール)。17の目標(ゴール)で構成され、2030年までに貧困や飢餓撲滅、ジェンダー平等などの社会的な課題や環境問題を解決し、持続可能な社会の実現を目指している。

1989年



新総合オンラインシステム稼働

1991年



香港支店開設

2001年



「じゅうだん会」システム共同化調印式

2010年



「新融資支援システム」の稼働開始

2014年



新研修所竣工

